

CARBON POOLコンクリートの開発と実装



CO₂を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト

事業概要

研究開発項目1

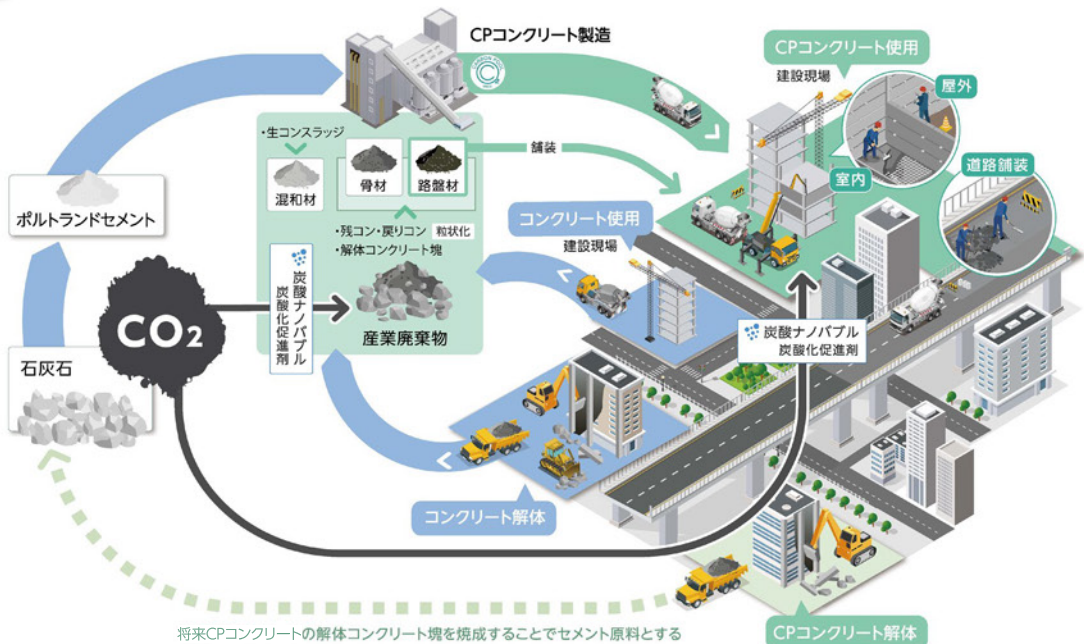
「CO₂排出削減・固定量最大化コンクリートの開発」

セメント焼成工程などで発生するCO₂を、コンクリート由来の産業廃棄物に固定化させるという**地域内循環**を構築し、さらに新たな技術を用いて引き渡しまでに**CO₂固定量を最大化**したCARBON POOL (CP) コンクリートを開発する。CPコンクリートの施工性や耐久性を確保し、**舗装のみならず、建築・土木構造物にも実装**する。

研究開発項目2

「CO₂排出削減・固定量最大化コンクリートの品質管理・固定量評価手法に関する技術開発」

LCCO₂・LCA・LCCの総合評価システムを構築することにより**ESG金融の促進**や**カーボンプライシングをサポート**し、脱炭素社会に貢献する。



実施体制

研究開発項目1



根幹技術の開発	地域内環境技術の開発	社会実装に向けた開発
(株)安藤・間	(株)内山アドバンス 大阪兵庫生コンクリート工業組合 灰孝小野田レミコン(株)	舗装 大成ロテック(株) 構築物 (株)安藤・間 日本道路(株) 青木あすなる建設(株) (株)浅沼組 (株)佐藤渡辺 トビー工業(株)

研究開発項目2



まとめ及びLCCO ₂ 評価手法の開発 (一財)電力中央研究所			
LCCO ₂ ・LCA・LCC統合評価設計システムおよび社会実装シナリオの検討 東京大学	品質評価・品質管理手法の開発 東京都立大学	LCA (材料資源) 評価手法の開発 国立環境研究所	LCC評価手法の開発 明星大学

※本事業は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) による、グリーンイノベーション基金事業「CO₂を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト」における2030年までの公募事業です。